

宮地岳の自然や地域に感謝して

宮地岳小学校（宮地岳町）
6年 川峯大和

ぼくたちが住んでいる宮地岳町は、空気がおいしく自然が豊かでおいしいお米がとれるところです。全校児童は15人で少ないですが、“かなた班”でのたてわり班活動を毎日がんばっています。朝の活動、清掃活動、学校行事など1年生から6年生まで1人ひとりが大きな役割を果たしています。また、田植えや炭焼き、茶道教室、通学合宿などの貴重な体験で、地域の人たちとふれ合う機会がたくさんあり、ぼくたちを温かく見守ってくださっています。自然や地域の人たちに感謝し、ふるさと宮地岳を大事にしていきたいと思えます。そして、この1年みんなの笑顔がふれる学校にしたいです。



地域の人と“炭焼き体験”をする児童

ぼくのわたしの学校部活自慢



竹とんぼ作りを熱心に見つめる児童たち

地域の人たちのあたたかさにつれて

倉岳小学校（倉岳町）
6年 中村美有紀

倉岳小学校では、昨年、地域の人たちとの交流会をしました。これは、高学年が計画し、全校生で行った行事です。お手玉コーナーでは、おばちゃんから、お手玉のぬい方を教えてもらいました。竹とんぼコーナーでは、おじいちゃんが、大きな竹から竹とんぼを作り、それを高く飛ばすやり方を教えてくださいました。折り紙コーナーでは、私たち高学年が、低学年でも簡単に作れる折り方を伝えました。また、地域の人たちが、広告用紙などをあみこんで作ったかごを持ってきてくださり、おどろきました。交流会を通して、昔の遊びの楽しさを知り、地域の人たちのあたたかさにつれることができました。これからも続けていきたいです。

亀場地区振興会では、『安全で、心のかよいあう、自然豊かなまちづくり』を目標に、次の活動を行っています。まず、明るいあいさつ日本一運動と題して、亀場町内の通称「日本一のあいさつ通り」（国道266号線沿い）を中心に、毎月2回あいさつ運動を実施し、笑顔あふれるまちづくりを目指しています。次に、熊野坐神社や食場神社などの文化財や名所を満載した、宝島マップの作成や現地の案内看板設置など、地域の情報発信を進めています。また、12月には、稜南中学校美術部の協力を得て、亀場小学校前にイルミネーションを設置し、行き交う人たちの目を楽しめています。このほかにも、七夕会やお雛様会など



▲“あいさつ運動”のようす

地域づくりコーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

すべての人が安心して暮らせる
まちを目指して

亀場地区振興会（会長 高村 巧）

季節にちなんだ催しを行い、子どもたちの思い出づくりや青少年の健全育成に取り組んでいます。これからの、多くの町民が参加できる行事を企画するとともに、世代間交流や住民の交流を図りながら、すべての人が安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。

宝島の健康

よけすけ

吉野郁郎 さん
（五和町手野・84歳）



◆毎日の楽しみは？

毎朝新聞を読み、コラム欄の記事を日記代わりに記録することです。平成7年から毎日欠かさず行っています。また、天気の良い日には、庭のツツジや花の手入れを行っています。

◆健康の秘けつは？

五和町合唱団「のいちご」の指揮者をしていて、週1回の練習に皆さんそろって参加していただける時が、1番うれしいです。そのことが、私の健康につながっていると思います。



若っ喝采

船元隆成 さん（新和町大宮地・22歳）

昨年から福祉施設で介護の仕事をしています。職場では、利用者の皆さんの笑顔を励みにしながらがんばっています。趣味はソフトボールとミニバレー。家が海の近くにあるので魚釣りもしています。これからは、周りの人に信頼されるような人間になりたいと思っています。

火遊びは絶対にしません！

赤崎保育所（有明町）

赤崎保育所（久良サツ子所長・全園児23人）では、「元気でがんばる子ども・思いやりがあり仲良く遊べる子ども・何事も意欲的に取り組む子ども・好き嫌いせず何でも食べる子ども」を目ざしています。赤崎幼年消防クラブでの取り組みは伝統ある活動の1つで“防火パレード”や“防火もちつき”など、年間を通じて地域住民に『防火』の大切さを呼びかけています。また、恵まれた自然環境の中、子どもたちは広い園庭をかけまわったり、夏にはプールで水遊びをしたりして元気いっぱいです。今後も、地域住民との交流や縦割りクラスでの活動を通じて、家庭的な雰囲気の中で心身ともに健康な子どもに育ってほしいと思います。



みんなで敬礼!!! かってよくきまったかな？



桜の木に見守られハイポーズ！

大きなおおきな桜の木の下で

佐伊津保育所（佐伊津町）

佐伊津保育所（松岡妙子所長・全園児41人）の広い園庭には、大きな桜の木があり、長い間子どもたちの成長を見守っています。3月の卒園式では、満開の桜が小学校に続く坂道の桜並木と重なり、夢のように美しい風景でした。園では毎年、桜の木の前で記念写真を撮っています。前日の雨で花びらが散ってしまいましたが、枝を広げて新入園児を迎える姿は、まるで子どもたちを慈しんでいるかのようです。すくすくと育つ子どもたちを見守りながら、春には美しい花を咲かせ、夏は涼しい木陰を作り、次の春のために冬の寒さを耐える桜の木。子どもたちには、この桜の木のようにたくましく育ってほしいと願っています。

